

# 千葉都市モノレール株式会社

## 第41期（平成30年度）事業の概要について

令和元年6月26日  
千葉都市モノレール株式会社

### ○事業の概要

当期は、中期経営計画（2017-2019）の2年目の年であることから、引き続き計画を着実に実行するため、『平成30年度経営戦略』として「安全・安心の徹底」、「サービスの向上・情報発信の強化」、「持続的経営の推進」の3項目を掲げ、全社員が目的意識を持ち職務に努めました。

また、平成30年3月28日に開業30周年を迎えたことから、お客様や地域の皆様への感謝の気持ちを改めて示すため、『これまでの感謝 これからの決意』をキャッチフレーズとして、更なる安全運行と利用客サービスに取り組みました。

当期の営業成績としては、輸送人員で7期連続の増加となり、運輸収入においても前期を超え過去最高の実績となりました。

事業の基盤である安全面では、震災対策として車両基地内桁・支柱の耐震補強工事を進めるとともに、平成29年12月に着工した千葉駅天井落下対策工事を完了させたほか、殿台変電所更新工事の着手や運行管理システム更新工事の契約締結など重点課題としている施設の経年劣化対策にも取り組みました。

### （1）営業実績

当期の輸送人員は1,918万9千人になり、前期と比べ43万6千人増加しました。

内訳としては、定期外輸送人員で4万1千人増加、定期輸送人員で39万4千人増加しました。

定期外輸送人員及び定期輸送人員の増加要因については、次のように分析しています。

#### 【定期外輸送人員の増加要因】

##### ① 千葉駅のJR連絡通路開通による乗換の利便性向上

千葉駅から比較的距離の近い、千葉みなと駅、市役所前駅、作草部駅、天台駅などと千葉駅との相互間での利用が特に増加している区間となっている。

沿線人口は横ばいか微減の傾向が続いている中で、千葉駅のJR連絡通路開通による乗換の利便性向上及びペリエ千葉のリニューアルオープンにより、これまで利用の無かった方の潜在需要を引き続き掘り起こしているものと考えられる。

#### 【定期輸送人員の増加要因】

##### ① 1km 条例圏内の宅地化による人口増加（若葉区）

##### ② 定期外同様、JR千葉駅との連絡通路効果と推定され、千葉みなと、市役所前、作草部、天台各駅の近距離利用者が増加

また、運輸収入は33億6,000万円となり、前期と比べ5,700万円増加しましたが、計画と比べては1,100万円の減少となりました。内訳としては、定期外収入で19億9,600万円、定期収入で13億6,400万円となりました。

(参考)

## 輸送人員・運輸収入

	当 期 (平成30年度)	前 期 (平成29年度)	増 減	対前期比
輸送人員	(千人)	(千人)	(千人)	(%)
定期外	8,915	8,874	41	100.47
定 期	10,273	9,878	394	104.00
合 計	19,189	18,752	436	102.33
運輸収入	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)
定期外	1,996	1,993	3	100.15
定 期	1,364	1,310	54	104.13
合 計	3,360	3,303	57	101.73

(単位未満の端数切捨)

## (2) 主な取り組み

- ① 安全・安心の徹底
  - ・運輸安全マネジメント評価の受検
  - ・殿台変電所の更新工事
  - ・千葉駅天井改修工事
- ② サービスの向上・情報発信の強化
  - ・駅務機器の改修・更新
  - ・駅名標の多言語化、駅ナンバリング
  - ・千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部との相互連携
  - ・千葉氏×北斗の拳等とのコラボ企画
- ③ 持続的経営の推進
  - ・地域限定旅行業の拡充
  - ・広告収入の営業強化
  - ・女性駅員仮泊室の整備

以上

<お問い合わせ先>

千葉都市モノレール株式会社 総務部経営企画課

電話 043-287-8216